

ツタキ織物

大月市賑岡町畑倉 837
TEL : 0554-22-5846
FAX : 0554-22-3412
<http://www.tsutaki-orimono.com>

天然素材にこだわる
ちいさな機屋

1947年創業のツタキ織物はネクタイやストールを専門とする機屋。ツタキ織物では自社製品が主力。自社製品によって自社の名前を前面に出し、ブランド確立に注力しています。

「ツタキ織物」のブランドを支える目玉商品はシルクのストール。ほかにも麻や綿素材を使った織物を製造していますが、「使ってるのは天然ものだけ」。ツタキ織物のこだわりは素材にあります。「シルクは天然素材。肌触りが良くてツヤがよく出る。ほかの素材ではあの風合いは出せないんです」とツタキ織物の店主は言います。

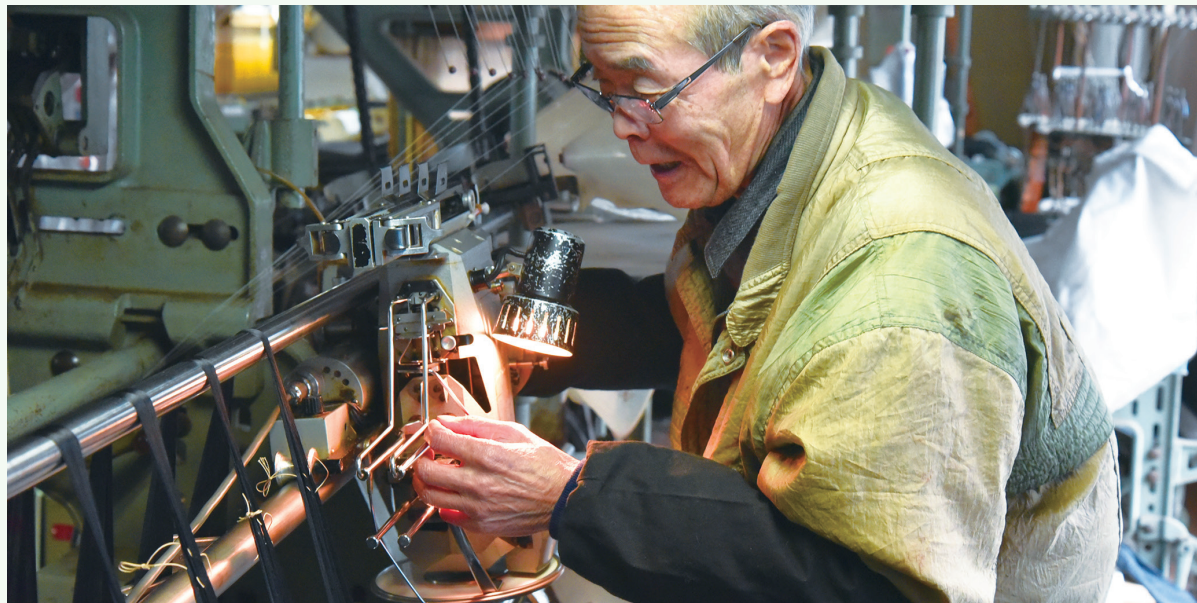
鈴木織物

大月市瀬戸 372
TEL : 0554-24-7136
FAX : 0554-34-7782

郡内織物の魅力を
海外にも

鈴木織物は60年以上郡内織物を織りつづける機屋の老舗。現在夫婦で工場を切り盛りされています。

鈴木織物の工場に行くと、現代風のデザインの生地がいくつも織られていました。ほかにも学生の制服・ネクタイ生地を製造しています。なかでも鈴木織物のネクタイの歴史は古く、50年ほど前にさかのぼります。大月におけるネクタイづくりのバイオニアとも言える鈴木織物ですが、今でも年間100前後の中学校や高校のネクタイを製造しています。長い月日で得た経験と確かな技術は県を超えて認められているのです。



上：織機（しょつき）にかける糸を交換しているようす

下：現在はコンピュータデータから紋様を織る技術もあるが、鈴木織物では、紋紙（もんがみ）と呼ばれる穴の空いた型紙を機械で読み込んで模様をつくる



左：記事に出てくる一番人気のストール
左中：市内を観光するバスツアーのお客さんにネクタイとストールの販売をおこなっているようす。店主自身が現場に向いて、直接販売する



ネクタイだけではありません。工場で見つけた現代風の生地はがま口やポーチなどの素材です。京都に本社をかまえる「スーベニール」のブランドである、「カランコロン京都」というブランド名で売り出されています。東京タワーやお相撲さんなどの日本らしさを象徴するデザインが多く、小物にぴったりな、かわいらしいデザインです。

鈴木織物の織り上げた生地は、もう十年も前から和風小物としてデパートの一角を飾ってきました。デザインのかわいらしさから若い女性に親しまれるのはもちろんのこと、日本風の絵柄と織物ならではの風合いが海外の旅行者に人気を博しています。鈴木織物は山梨県を超え、さらには海を越えて人々に愛される織物をつくり続けています。



一番人気は深い紺色をしたストール。つややかな光沢があり、光の加減で色見えかたが鮮やかに変わる、表情の豊かさが秀逸です。サラリとした触り心地と羽のような軽さは気軽に身に付けられる最高級の心地よさを実現してくれます。

同じシルクを使ったストールでもさまざまな種類があると店主は言います。「シルクは糸の種類も豊富なんです。それに織りかたによって風合いが大きく変わる」。色どりはもちろん肌触りや質感がまったく違う。郡内織物を初めて見るかたでも一目で違いを感じるはず。ツタキ織物にとってシルクは無限の可能性。新しい商品をこれからも続々とつくっていききたい、と店主は熱のこもった声で語ってくれます。